

## FBS セミナー

演題名： 皮膚炎と IL-25

演者： 中江 進 先生

(所属 東京大学医科学研究所)

生活環境下において、ヒトは様々な金属や化学物質に暴露されています。毛染めやアクセサリーなどによって起こる皮膚のかぶれは金属や化学物質に繰り返し接触することによって発症するアレルギー性皮膚炎（接触皮膚炎）の一つです。接触皮膚炎の炎症誘導に、インターロイキン 25 (IL-25) が関わっていることがわかりました。従来、IL-25 は、肺や腸管では 2 型免疫応答 (IL-4, IL-5 や IL-13 などの産生) を誘導し、好酸球の浸潤を伴う炎症を誘導するサイトカインと考えられていましたが、皮膚では 3 型免疫応答 (IL-17 の産生) の活性化を促進することにより好中球の浸潤を引き起こす作用があることがわかりました。IL-25 による皮膚炎の誘導のメカニズムを紹介します。

日時： 2019 年 5 月 8 日 (水) 12:00~13:00

場所： 生命システム棟 2 階セミナー室

(問合せ先：免疫細胞生物学・水野 紘樹 (3881))